



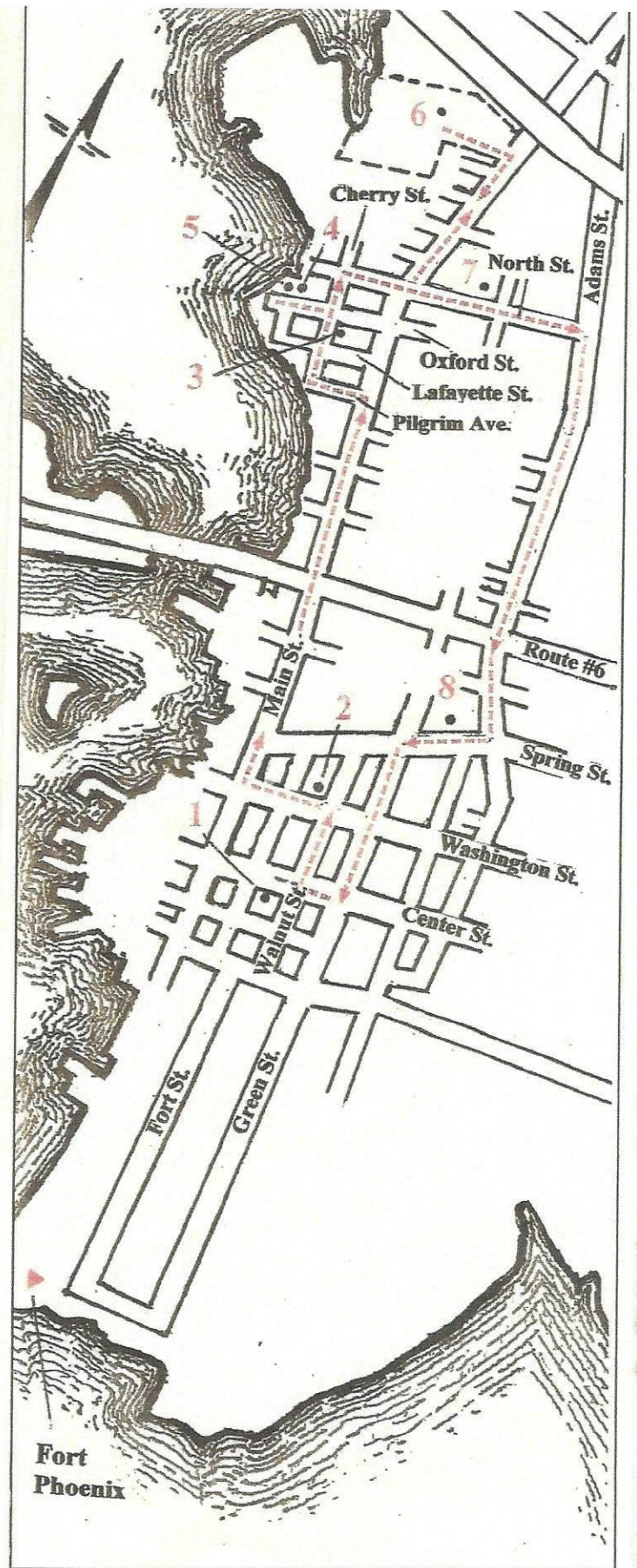
万次郎トレール

西暦1841年の事である。14歳の日本の若者が、他の漁師4人と鯨を捕りに漁船に乗り込んだ。ところが最悪の嵐に会い、無人島へ漂流、餓死寸前のところ、ニューベッドフォード出航の捕鯨船ジョン・ハウランド号に救出された。ウィリアム・ウイトフィールド船長は、鎖国中の日本へ彼らを連れ返る事は、危険と判断し、ハワイまで同行して上陸させた。利発で働き者の、最年少者の万次郎は、船長に認められ、誘いに応じてアメリカ行きを決心。彼に教育を施したい思いが船長の脳裏をかすめていたのである。

万次郎は、アメリカに住んだ「初の日本人」となる。以後船長は外国人の万次郎を自分の息子のようにして、面倒をみた。万次郎の名は、町の人達の口先にも良くのぼり、好感を持たれた。生まれて始めて学校（オールド・ストーン・スクール）へも通わせてもらい、船長宅の近くの家庭教師（ミス・アレン）の家へも英語を習う為、行かせてもらった。後には、私立の高等教育機関、パートレット・アカデミーで数学、測量、ナビゲーションを、学んだ。彼は帰国後鎖国を開ききっかけをつくり、日本に民主主義を紹介し社会近代化に偉大な貢献をした人物として、高く評価されるべきであろう。

アメリカ生活中に彼の残した足跡を辿ることが出来ます。「万次郎トレール」を訪ねてみて下さい。日米の友好交流の発祥地へ、皆様よくお出で下さいました。

“万次郎の足跡”を
辿ってみましょう。



1. ミリセント図書館

(45 センター ストリート) — フェヤ
ヘーブン町のこの美しい建築は、長い間
フェヤヘーブン・ニュー ベッドフォード＝
土佐清水 姉妹都市委員会の本拠として、又
集会所としての役目を果たしてきました。万次郎に関する
書物、中濱家贈呈品の日本刀が 展示されている。現天皇
陛下御夫妻のお名前が ゲスト・ブックにサインされてい
ます。(2019年4月30日 ご退位)



*「万次郎の足跡巡り」は、車をお薦めします。この図書館の裏側
に面した ウォルナット・ストリートへ 左に曲がり入ります。直
後 ワシントン・ストリートへ左に曲がり、右側に路上駐車。

2. 旧ユニタリアン教会

(34 ワシントン ストリート) ウィ
ットフィールド家族と万次郎が 通った教会。建
物は、以来 修理改造が行われ 各持ち主の
手を経て 維持されてきた。現在は、「ノー
スウエスト海洋学専門養成所学院」として、
世界に高名を連ねている。正面入り口の前に建てられた記念
碑は、万次郎とウィットフィールド船長の友情を象徴させて
学院長が設計したものです。



*そのまま 2区画(ブロック)に亘り メイン・ストリートまで
進み 右へ曲がり、運転を続け、ルート6の信号を横断、左側にあ
るピルグリム・アベニューに入る。チェリー・ストリートまで来た
ら、右に曲がり 船長の家が 右側にみえて来る。ラファヤット・
ストリートを横切ったら直後にあります。路上駐車。

3. ウィットフィールド船長の家

(11 チェリー・ストリート) ウィリアム・
ウィットフィールド船長が、万次郎を歓迎して
住ませた家。万次郎が、アメリカに住んだ最初
の日本人ということになる。また、この出会い
が、今日に見られる日米間の友好関係の基盤に
なっていると言えよう。日米のフレンドシップ
は、ここが出生地であります。



*ここから 北の方向に歩いて、オックスフォード・ストリート
で、左に入ると右側にエイキンの住んでいた家があります。#14)

4. イーベン・エイキンの家*

(14 オックスフォード ストリー
ト) 2年余の捕鯨航海から戻ってきた
(1843年) 船長は、ニューヨークに
住む婚約者アルパチーナを迎えに行く
為、家を留守にした。万次郎を近くに住んでいた船主で
友人でもあるイーキン家に預けて行った。



*同じオックスフォード・ストリートをそのまま徒歩で、 地図
にある#10を見つけて下さい。

*印は、私宅のため 公開されて居りません。住人のブラ
イバシーをお守りになって下さい。芝生の上を歩かない
よう お願いします。

5. アレン姉妹の家*

(10 オックスフォード・ストリー
ト) 一少年、万次郎は、ここで塾を開い
て家庭教師をしていたミス・ジェーン・
アレン、ミス・チャリティー・アレン
姉妹から英語を教えられた。半地下室 兼 台所で、勉強
の他に 姉妹たちの手作りのお菓子の味も覚えたと言わ
れている。



*車にお戻り下さい。オックスフォード・ストリートを越えて、
次の道ノース・ストリートで 右方向に入り、メイン・ストリー
トで、左へ 曲がり、運転して行きますと 左側に黒い鉄門があ
り、そこがリバーサイド墓地への入り口です。車でお入り下さい
い。(地図参照)

6. ウィットフィールド家のお墓

(274 メイン・ストリート) —ウイ
リアム・ウィットフィールド船長、並び
に 船長家一族の永眠墓地。フェヤ
ヘーブン町にあるこのリバーサイド墓地
は、手入れの行き届いた 美しい埋葬園として、知られて
います。多くの日本人が、万次郎の恩人のお墓をたずねて
表敬参拝しております。



*お墓を出て メイン・ストリートを 右に向かい、すぐに
ノース・ストリートへ 左に入ります。 左側に 万次郎の通っ
た学校がみえます。路上駐車。

7. オールド・ストーン・スクール

(40 ノース・ストリート) —
万次郎は、ここで「読み」「書き」
「そろばん」 英語で“ザ・スリー・アー
ルズ”(3R's)と称される基礎科目を、町の
生徒たちと一緒に この公立小学校で学んだ。一部屋だけ
の教室で、上級生、下級生、同席して、勉強に励んだ。彼
は とても真面目で、勤勉な生徒だったとの評判を得た。



*ノース・ストリートに沿って、まっすぐ行き、アダム・スト
リートを右に入り、ルート6を横切り、スプリング・ストリート
角まで来て 右に入る。パートレット・アカデミーが、右側(4
2-44)にある。路上パーク。

8. ルイス・パートレット・スクール*

(42-44) スプリング・ストリー
ト) 万次郎は、この私立の高等学院で、
海洋航海、造船に必須科目の、船の操縦
術、数学、海面測量学、天文学などを
習得して、帰国後は、これらの知識を 日本で 大いに役
立たせたのである。



*出発点の 図書館へ戻る道順：スプリング・ストリートを
まっすぐ走り、グリーン・ストリートで、左へ入り、センター・
ストリートに来たら 右へ曲がり そのまま 進むと 図書館が
左側に見えます。

ホイットフィールド=万次郎
フレンドシップ ソサエティー
11 チェリー・ストリート、フェヤヘーブン
マ州、USA 02719

www.Whitfield-Manjiro.org